



# キャリアパスフォーラム 第5弾

— さまざまなエリアの日本語教育現場 —



このキャリアパスフォーラムは、将来日本語教育にかかわりたい方や、現在日本語教育に関わっていても違う分野にチャレンジしたい方に向けて、日本語教育業界の多様な現場をよく知ってもらうためのイベントです。

キャリアパスフォーラム第5弾は、さまざまなエリア(県)の日本語教育現場です。キャリアパスフォーラムへの参加を通して、さまざまなエリアの現場を知り、将来のキャリアを考えてみませんか。

**日時：2025年2月15日(土) 14:00~16:00**

**参加費：500円(会員・非会員問わず)**

**※中高生・大学学部生は参加費無料**

**定員：100名(要事前申込・定員になり次第締切)**

**対象：**キャリアとしてさまざまなエリア(県)の日本語教育を知りたい方  
将来の活躍の場を、日本全国を視野に入れて考えたい方  
キャリアパスとして、次のステップに進みたいと考えている方



**申込方法：**日本語教育学会 HP ( <https://www.nkg.or.jp/> ) の「[マイページ](#)」から事前申し込み  
[非会員の方もマイページ登録をしての申し込み](#)となります。

※中高生・大学学部生はマイページ登録不要です。[こちら](#)に必要事項を記入し、  
在学中であることがわかる書類(学生証の写真等)をご提出ください。

**申込締切：**2025年2月7日(金) 正午 [日本時間]

**実施方法：**Web 会議システム Zoom を用いたオンライン開催で実施します。

Zoom を利用するための事前準備や接続方法等については、  
後日、申し込み者に対してご案内いたします。

**主催：**公益社団法人日本語教育学会(担当:チャレンジ支援委員会)

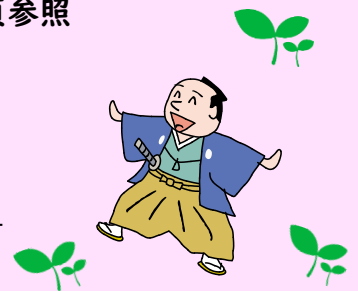


日本語教育学会  
HPはこちらから

---

14:00~14:15 挨拶・趣旨説明・ご登壇者の紹介 ※登壇者は次頁参照  
14:15~15:00 車座タイム1 (ご登壇者の話・質疑応答)  
15:00~15:05 休憩または移動  
15:05~15:50 車座タイム2 (ご登壇者の話・質疑応答)  
15:50~16:00 まとめ、学会主催イベントご案内

---



お問い合わせ先:公益社団法人日本語教育学会(チャレンジ支援委員会)

TEL:03-3262-4291(平日9~18時のみ)

E-mail:[challenge@nkg.or.jp](mailto:challenge@nkg.or.jp)



公益社団法人

日本語教育学会

# 登壇者紹介

【宮城】瀬戸 稔彦(大崎市市民協働推進部政策課日本語学校推進室 主任教員) <https://www.osaki-jls.com/>

大学で日本語教育を学んだ後、仙台市にある日本語学校で14年半専任教員を務めました。その間に大学・専門学校での授業、教育実習・通信制養成講座での教師養成、教科書や多読用読み物などの教材作りに関わる機会にも恵まれました。そんな中、宮城県内に公立の日本語学校ができる

と知り、自身の経験や力を活かしつつ地元貢献したいと思い現在に至ります。2024年10月に文科省より認定を受け

「大崎市立おおさき日本語学校」が来春開校予定です。私の話や現在の取り組みが少しでもお役に立てれば幸いです。



【茨城】仙波 美哉子(公益財団法人茨城県国際交流協会茨城県地域日本語教育の体制づくり事業 地域日本語教育推進員) <https://www.ia-ibaraki.or.jp/project/japanese-support/japanese-learning-system/>

社会人になってから、大学の日本語教育プログラムを履修し日本語教師としての活動をスタートさせました。大学や日本語学校で非常勤講師をしながら、居住地の市国際交流協会で、ボランティアの仲間と共に日本語支援に取り組んで来ました。令和2年度に茨城県が地域日本語教育の体制づくり事業(文化庁補助(当時))を開始したことに伴い、当初は地域日本語教育コーディネーターとして参加、令和4年度からは県国際交流協会職員(地域日本語教育推進員)として勤務しています。日本語教師としての仕事の幅広さ、奥深さを感じながら日々楽しく仕事をしています。

【広島】道法 愛(広島大学大学院人間社会科学研究科 日本語教育学プログラム 助教)

広島大学では、日本語教育を専門とする学生や留学生に対して授業をしています。 <https://nihongo.hiroshima-u.ac.jp/>

日本語教育との出会いは、高校生の時でした。先生から紹介された地域日本語教室に赴いたことをきっかけに日本語教育にどハマリし、広島大学の日本語教育系コースに入学しました。入学当初は海外で日本語を教えるのが夢でしたが、日本語を研究する面白さに魅了され、大学院へ進学し、現在に至ります。大学院では研究に従事する中、国内外の様々な機関で日本語を教えていました。みなさんと楽しくお話ししながらご紹介できれば幸いです。

【熊本】前田 和則(Plus ten 株式会社)

<https://researchmap.jp/kazunorimaeda>

イギリスで日本語教育と出会い、大学卒業後、福岡県内の日本語学校で日本語教師デビュー。その後、大学職員へ転職し、16年間勤務。大学職員をしながら地元のシンクタンクに研究員として所属した際、熊本県が作成した「やさしい日本語の活用テキスト」を監修。現在、熊本国際日本語学校の開校申請中。その他、熊本学園大学、専修学校久留米ゼミナール日本語学科で非常勤講師として勤務。外国人とやさしい日本語、外国人とキャリア教育、外国人と防災等、外国人との共生社会に必要なことを皆さんと一緒に話せたら幸いです。国家資格キャリアコンサルタント、防災士の資格を保有。

【香川】上原 由雅(日本語教師グループ はずむ日本語 代表) <https://hazumu-nihongo.com/>

大学時代の留学生との交流から日本語教育に出会い養成講座を受講。台湾の民間日本語塾、国内の日本語学校非常勤講師を経験後、JICA 青年海外協力隊に応募。インドの大学に派遣される。2020年コロナ禍で帰国後、地元の香川県で技能実習生や外国ルーツの子どもたちと関わるようになり、地方での日本語教師のニーズを実感。フリーランス日本語教師のグループ「はずむ日本語」を立ち上げる。日本人側にやさしい日本語を浸透させることも目標。



【静岡】河合 世津美(特定非営利活動法人日本語教育ボランティア協会 代表) <https://www.jabora-npo.com/>

通称ジャボラNPO。1996年個人でボランティアスタート、その後講座の仲間と2001年NPO設立。現スタッフは日本語教師、教育従事者、元学校教師で構成。自称「プロボラ」集団。週末の夜は大人日本語教室を開催、文科省事業、文化庁事業を経て、現在は教育委員会、公立小中学校在住外国人児童生徒日本語教育支援事業を行っています。子どもテキストは漫画チックに、大人テキストは地域色を出して自分達で作成、そこに関わる専門学校生等の人材が自慢。「一人でもできるけど仲間とできたらもっと広がる」がモットー。RADWIMPS「正解」1000人の18歳の歌声を聴くのが好きです。